

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

坂東市 解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	2016年(平成28年)1月1日付けの「統計ばんどう」によると、最も総面積が大きいのは畑(3,735ヘクタール)であり、続いて田んぼ(2,205ヘクタール)、住宅地(1,735ヘクタール)、山林(1,184ヘクタール)となっています。このことから、坂東市が有数の野菜の産地であることがわかります。	3
2	岩井戦争は、1868年(慶応4年)4月、岩井の高声寺に陣を敷いた旧幕府軍と新政府軍との間で行われた戦争です。江戸から撤退した幕府軍の一部は利根川を渡って関宿へ向かおうとし、岩井の高声寺に陣を敷きました。この報を受けた新政府軍との間で市街戦となり、敗れた幕府側は北へと敗走しました。高声寺にはこの戦いで戦死した新政府軍側の長州藩士・田中甚吉の墓碑が建っています。	4
3	ケヤキは街路樹や庭木などとしてよく植えられ、巨木が国や地方自治体の天然記念物になっていることがあります。また、多くの自治体が「県の木」「市の木」に指定しており、「坂東市の木」もケヤキです。坂東市内では、ケヤキの巨木が数多く見受けられます。	1
4	江戸幕府8代将軍徳川吉宗の新田開発奨励策により、飯沼を含めた湿地帯が干拓され、広大な新田が完成しました。以後、昭和初期まで改修工事が行われ、「美田三千町歩」とよばれる米どころとなるなど、現在の農業発展の基盤が形成されました。	2
5	市街の四ツ家から岩井第一小学校に向かって進むと、右側に小さな緑地があり、ここを「富士見の馬場跡」と称しています。富士見の馬場は、馬の調教を目的に開設され、やがて平将門によって軍馬の訓練の場として活用されたことは「野馬追い」行事の継承を通して想像することができます。	4
6	弓田にある明王山慈光寺(じこうじ)は「弓田のポックリ不動」として多くの観光客が訪れる場所です。創建は746年(天平18年)、平安時代に入ると、平将門が岩井(元坂東市岩井)に営所を構え、鬼門除けの本尊とし、厄(やく)除けの守り本尊として深く信仰していたと伝えられています。	2
7	下総国岡田郡花嶋村(現・常総市花嶋)に生まれた渡邊嘉重は、苦学して茨城師範を卒業後、1882年(明治15年)4月猿島郡小山村に赴任しました。そこで子守奉公のため学校に通うことのできない児童の姿を目にし、日本最初といわれる「小山子守学校」を1883年(明治16年)に設立しました。	3
8	菅生沼は首都圏でネイチャーウォッチができる数少ない自然観察フィールドです。野鳥をはじめ、沼に生息する魚や昆虫、岸辺の野草など、数多くの種類を見ることができます。特に、毎年ここで越冬する300羽を超えるコハクチョウやカモを見ようと、県内外から多くの人々が訪れてきます。	1
9	毎年、会場にはピンク色のレンゲは16ヘクタール、真っ赤なクリムゾンクローバーは5ヘクタール作付けされ、多くの来場者を喜ばせています。クローバーというと四つ葉のクローバーで有名な「シロツメクサ」が有名ですが、レンゲまつりのクローバーは真っ赤なイチゴに似ていることから「ストロベリートーチ」とも呼ばれています。	2
10	井上貞治郎はレンゴーの前身である三盛舎を設立し、日本で初めて段ボールの事業化に着手しました。段の付いたボール紙で風呂もよく覚えやすいとして「段ボール」と井上が命名したのがその始まりです。	4
11	下仁田ネギは他の品種のネギに比べて太く、いくつかの成分が多く含まれています。生のままでは非常に辛いですが、加熱すると甘みが強くなり、柔らかい滑らかな食感となります。このため基本的に薬味としてでなく加熱調理に用いられています。すき焼きをはじめ、そのまま天ぷらにするなど様々な料理に使われています。そのため一般の薬味に使われるような長葱と比べ価格は高めになっています。	2
12	平将門は、平安時代中期、関東八カ国を制して都の帝(みかど:天皇)に反抗する「親王」即位を宣言しました。将門の乱は、瀬戸内海で藤原純友(ふじわらのすみとも)が起こした乱とともに「承平天慶の乱(じょうへいてんぎょうのらん)」と言われています。	4
13	ベルフォーレには、3台のコンサートピアノがあります。開館当時に、世界的ピアニストであるアシュケナージ自らが選定した「スタインウェイ」社のピアノの他に、日本のヤマハ社、オーストリアのベーゼンドルファー社製のピアノがあります。	3
14	坂東市では、茨城県企業局水海道浄水場で利根川や鬼怒川の水を取水してきれいにした水と、市内5か所の深井戸から地下水をくみ上げ、きれいにした水を混ぜて各家庭に送っています。	1
15	首都圏中央連絡自動車道は、東京都心から半径40~60キロメートルの位置に計画された延長約300キロメートルの自動車専用道路のことで、横浜、厚木、八王子、川越、つくば、成田、木更津等の中核都市を連絡します。この道路は、中央環状線や外環道とともに「首都圏3環状道路」と呼ばれ、その一番外側に位置しています。一般的に圏央道と言われています。	3
16	沓掛にある神明社の大ケヤキは周囲が8.5メートル、高さ30メートルもある巨木で、1932年(昭和7年)には県指定の天然記念物となっております。かつて境内には多くの樹木がありましたが、なぜか次々に枯れてしまい、このケヤキだけが残ったそうです。人々は、この木を神木として大切にしていたそうです。	2
17	下総利根大橋有料道路は1985年(昭和60年)、坂東市(当時の岩井市)長須から、千葉県野田市木間ヶ瀬(当時の東葛飾郡関宿町)を結ぶ全長3.1キロメートルの有料道路です。国道16号から坂東市方面の近道として利根川を渡る車両や歩行者に利用されています。	4
18	1890年(明治23年)に日本で初めての点字を作ったのは石川倉次です。フランス式点字を五十音式に組み替えて作ったものです。それよりも18年も前に忍田清宝(おしだせいほう)は自ら考案した盲人用凹凸文字の採用を関係役所に提出しましたが受理されませんでした。点字の創始者の石川氏はこれを見てその方法の非凡さを感じ、受け入れられなかったことを惜しんだと言われています。	1
19	2015年(平成27年)に誕生した観光交流センター「秀緑(しゅうろく)」は、伝統と現代的な感覚を融合させた施設です。その中に、旧大塚酒造店舗及び本蔵を移築し、案内所及び多目的ホールとして活用しています。2017年(平成29年)5月に文部科学省より有形文化財に登録されました。	3
20	坂東市内でもっとも作付面積の多い野菜はレタスで、1,491ヘクタールの面積をほこります。2位はねぎで471ヘクタールであり、レタス栽培が飛びぬけて多いことがわかります。	2
21	2019年に行われる「いきいき茨城ゆめ国体」では、マスコットキャラクターである「いばラッキー」が市町村の特色あるものとコラボレーションして様々なイラストをつくっています。坂東市では平将門に扮した、いばラッキーを背中に乗せるアルパカが描かれています。	4
22	塚原積蔵は、明治時代に現在の生子地区の山林を切り開いて西洋種のブドウ苗1万本を植え、ブドウ酒づくりを地域に広めました。自分が生まれた卯年にちなんでウサギの印と、ブドウの絵をラベルにつけて販売されたそうです。	1
23	大利根カントリークラブは、加藤俊輔氏設計の本格的なトーナメントコースです。レクサス選手権では、石川遼選手もプレーしました。	2
24	坂東市は茨城県の南西部に位置し、市の総面積は123.03平方キロメートルで、区域は東西約12キロメートル、南北約20キロメートルとなっています。これは、県内44市町村のうち22位の大きさです。ちなみに1位は常陸太田市で371.99平方キロメートルの面積をほこります。	3
25	既存する沓掛工業団地、つくばハイテクパークいわいに加え、坂東インターチェンジの開通にともない、広大な敷地を利用した坂東インター工業団地ができました。現在も大きな工場の建設が進んでいます。	4